

令和元年度茨城県教育研修センター第2回外部評価委員会記録

日時	令和元年10月29日（火曜日） 午前10時から午前11時30分まで
場所	茨城県教育研修センター国際教育研修室
出席者	<p>○外部評価委員 荒川 智 委員 橋本 昭彦 委員 葛上 秀文 委員 小田部 卓 委員 鈴木 宏治 委員 菅原 佐知子 委員 白土 良子 委員</p> <p>○茨城県教育研修センター 所長 安藤 昌俊 次長 山田 順一 次長兼教職教育課長 菊池 哲也 企画管理課長 飛田 和宏 教科教育課長 櫻井 良種 情報教育課長 渡邊 聡 教育相談課長 小松 智樹 特別支援教育課長 藤森 幸子 企画管理課指導主事 小林 豪 企画管理課指導主事 身内 卓也</p>
次第	1 開会 2 所長あいさつ 3 茨城大学全学教職センター・茨城県教育研修センター連携企画の紹介 4 研修講座参観 (1) 若手教員〔初任者〕研修講座（中学校）第11日（情報教育分野） (2) 小・中学校の学びをつなぐ！English Seminar 第2日 5 研修講座に関する意見交換 6 その他 (1) Googleフォームによる研修講座アンケート (2) 今後の予定 7 閉会

1 開会

2 所長あいさつ

3 茨城大学全学教職センター・茨城県教育研修センター連携企画の紹介

9月19日（木）に実施された講座「高校教師の魅力を考えてみよう」の動画を視聴

動画視聴後、次のような質疑応答があった（○は委員、●は事務局を表す）。

- 校長先生の立場から見て、どのような感想があるか。
- とてもありがたい取組だ。教師の仕事は大変な部分もあるが、とてもやりがいのある仕事である。高校教師は、生徒が進路選択をする上で、最も近い立場で関わり人生を導いていく、魅力的な職業である。産休・育休等の制度が整っており、女子学生だけではなく男子学生に対してもお話いただけたのであればありがたい。現役の学生たちにやりがいのある仕事であると伝えていただいた。
- 産休・育休・療休・介護休暇・有給休暇等、公認会計士の講師の方に資料を提供した上で、ほぼお話いただいた。女性が働きやすい職業であるのご理解いただけたと思う。

- 教育関係者ではなく公認会計士の方にお話しいただいたことがよかった。
- 小・中学校に対しても同様の説明があるとよい。
- 小・中・特別支援学校も同じく教育公務員であり、それぞれに向けてアレンジすることができる。今回、すぐに動画を編集して閲覧できるようにした。その目的の一つに、全国に向けて発信し、参考にしてほしいという思いがあった。また、教員のやりがいについては我々が話をするができるが、どうしてもひき目に見ていると思われてしまう。公認会計士の視点で、資料をもとに客観的に民間企業と比較をしていただいた。学生たちも客観的に見ることができたと思う。
- 若手教員の方からは、部活動で時間が取られてしまい忙しいというお話があった。大変な部分を知っていた上で、学生たちから「高校教師は魅力的な仕事」という感想を聞くことができた。とてもよい取組であったと思う。
- 部活動は休みを増やそうと思えば増やせるが、生徒のために休みたくないという本音を話していただいた。学生たちは若手教員の本音の部分も聞くことができてよかったと思う。
- 若手教員の人選も大事である。今回は自分の考えをしっかりと話すことができる魅力的な方ばかりであった。学生たちもよい印象を持ったと思う。今後もよい人選をお願いしたい。
- 次回は特別支援学校版も検討したい。
- 動画を観た印象では教員はブラックとは感じられない。
- 時間外勤務が月36時間という資料があるが、相当意識して取り組んだ結果であり、働き方改革は今後も課題である。
- 時間外勤務は報告と実態がかけ離れているのではないかと。若者の意識が変化してきており、一部金融機関では入社3年以内の社員の離職率が50%に近い時もあると聞く。教員の定着率は高い。時間外勤務の36時間という数字は相当努力して取り組まれた結果だと思うが、手綱を緩めるとすぐに増加してしまうだろう。
- 高校教育課の人事担当が毎年全ての高等学校に勤務時間調査を実施している。個人個人を見ると勤務時間がかなり超過している方もいると思うが、平均値は36時間であり実態を反映している。
- 講座を担当した公認会計士の方はプレゼンテーションが上手で、高校生でも理解しやすい素晴らしいものだった。
- この連携企画を高校生対象に実施してもよいのではないかと。
- 教師は魅力的な職業だと伝えるために、若いうちに見せた方がよい。
- 中学生に見せてもよい。

4 研修講座参観

- (1) 若手教員〔初任者〕研修講座（中学校）第11日（情報教育分野）
- (2) 小・中学校の学びをつなぐ！English Seminar 第2日

5 研修講座に関する意見交換

研修講座参観後、次のような質疑応答があった。

(1) 研修講座について

- 研修講座をいくつか参観してそれぞれ2、3分程度しか見ていないが、いずれの講座でも先生方が御土産として持ち帰ることができるキーワードがあり、素晴らしいと思った。一つ目の講座では、月の満ち欠けや多角形の外角を教えるために実物投影機を使用することで、子どもたちに「視点を与える」と言っていた。目から鱗が落ちた。ぜひ持ち帰りたいキーワードである。先生方が持ち帰る上で、コンパクトで使いやすいものになるものを分かりやすく提示していただいた。先生方から喜ばれると思う。
- 先生方は研修で学んだことを学校に持ち帰って活用されているのか。
- 本日は教材提示装置を使用した。デジタルカメラやスマートフォンでも、100円ショップ等でスタンドを購入すればできるということを示し、学んだ視点が学校で活用できるようにしている。本日は三つの情報教育分野の講座を参観していただいたが、エアドロップで情報を共有する、教材提示装置で視点を与える、ネット会議を通じてつながる、といったこれからの教育に必要な場面をご覧いただくことができた。
- 大学でもICT機器の活用について学生たちに教えているのか。
- 授業によっては教えているが、例えば教職科目ではここまでのことは教えておらず、機材の整備も十分ではない。来年度には環境を整備する予定である。
- センターにはICT機器が整備されているが、各学校での整備状況や使用状況はどうか。

- 本校ではセンターでの研修の成果もあり、かなり使いこなす先生が増えてきている。様々な使い方を研究している。しかし、機器の台数が少ないので、授業で一人一台使えるように整備できればと考えている。
- 教員がしっかりと研修をしないと、子どもたちに置いて行かれてしまう。
- 特別支援学校においては、特別支援教育に関する専門性の向上を図ることは当然であるが、教科の専門性を高めることも課題となっている。特別支援学校の先生方に対しても、教科の希望研修を積極的に受講するように働きかけたい。また、学校組織マネジメント研修に参加させていただいたが、学校の運営やグラウンドデザインの作成にすぐに生かせる内容であった。学校とセンターの一体化という意味でもありがたい研修であった。校長も勉強し続けなければならないので、校長が参加できる研修を今後もお願いしたい。

(2) 環境面について

- 宿泊棟にWi-Fi環境が整備されていないのは残念であった。
- 教員以外の外部の方からも同様の意見はいただいている。
- あるメーカーの自動販売機はWi-Fiを搭載しており、設置すれば無料Wi-Fiスポットとなる。数年前から県庁に設置されているようである。
- センターは築28年になるが、改修が難しい部分もあるようだ。例えばエレベーターは間口が狭く車椅子一台の出入りがやっとだ。現在のエレベーターはもっと間口が広い。費用がかかるのですぐには難しいと思うが、改修する視点も持ってほしい。
- 県の予算主管課との相談となる。
- 床が大分浮いてきており、つまづいたら危険ではないか。
- 障がい者用トイレやエレベーターも設置されており、肢体不自由の方への対応は十分されていると感じた。本日も車椅子の方が受講されていた。聴覚障害の方や視覚障害の方に対してのハード面、ソフト面の支援が必要になっていくと感じた。また、採用前研修からセンターが担当するということがだが、採用前や初任者の不安や悩みについて、学校が気付かなくても、センターの研修を受講する中で指導主事が気付くこともあると思う。学校とセンターが連携していくことを今後もお願いしたい。

6 その他

(1) Googleフォームによる研修講座アンケート

Googleフォームによる研修講座アンケートについて説明後、次のような質疑応答があった。

- 手書きで記入されたものを1件1件手入力する手間を考えると大分楽になるし、誤入力といったヒューマンエラーを防ぐこともできる。とても効率がよいので推進してほしい。
- 受講者が入力したデータをリアルタイムで蓄積できるのでありがたい。
- 今までできなかった理由を教えてください。この取組は全国発信に値することだと思う。また、不安要素があれば教えてください。
- G Suiteのフォーム、スプレッドシート機能を使用し実現している。教育情報ネットワークでG Suiteのシステムが使えるようになったことが大きく、今年度は試行的に導入した。不安要素は、コンピュータ室以外の研修室ではスマートフォンを使用することになり、果たして全員がスマートフォンを所持しているのか、フリック入力が上手なのか、通信料は個人負担となるのか、といったことが想定される。ただし、メリットの方が大きいので、貸出用iPadを用意して、できるだけ次年度全講座で実施したいと考えている。また、令和2年度1月末に現在のコンピュータシステムが更新となるため、その更新を機に、持ち込みのWi-Fi機器を接続できるようにしたいと考えている。現在は登録した機器しか使用できない。

(2) 今後の予定

7 閉会